

① あなたはインターネットの使える自分専用のスマートフォンやコンピュータを持ってますか。○をつけましょう。

・ 持っている () ・ 持っていない ()

② 篠原さんは「情報モラル教室」でどんなことを呼び掛けましたか。

[]

③ この記事を読んだ感想を書きましょう。

[]

名前【 】

写真など安易に投稿しないで

ネットの危険性学ぶ

上ケ原南小 5、6年生144人

インターネットや

会員制交流サイト

(SNS)での児童

のトラブルを防ごう

と、西宮市上ケ原九番町の

上ケ原南小学校で21日、「情報モラル教室」があった。

5、6年生計144人がS

NSでの見知らぬ人の会

話や、写真や動画の安易な

投稿といった危険性を学ん

だ。 インターネットや 会員制交流サイト (SNS)での児童のトラブルを防ごうと、西宮市上ケ原九番町の上ケ原南小学校で21日、「情報モラル教室」があった。5、6年生計144人がSNSでの見知らぬ人の会話や、写真や動画の安易な投稿といった危険性を学んだ。

同校が今月行ったアンケートで、6年生の携帯電話の保有率が6割を超えている。

た。全国でネットの利用方法の啓発講座を開く「ITコンサルタント会社」NIT(三木市)社長の篠原嘉一さん(58)が注意点を挙げた。篠原さんは昨年、県内の小学5年の女子がSNSで知り合った見知らぬ男性に「写真を送らないと家に行く」などと脅され、警察に相談した事例を紹介。「会ったことのない人と、ネット上であっても会話しないように」と呼び掛けた。また、学生時代に投稿した写真や動画が、大人になってから問題になることもあると説明し、「他人に見られて困る投稿をしないほしい」と注意を呼び掛けた。

(山本 晃)

会員制交流サイト(SNS)のリスクを聞く児童たち 西宮市上ケ原九番町

